第10号
2022年3月

箕輪町　農業委員会だより

ほんだれ様作り

農村文化継承　極め人

丸山 平治さん（82歳）

完成したほんだれ様

繭玉

粟穂やヒエ穂

神棚に飾られた小判と繭玉

新しい年が明けた1月8日、農村文化を継承（平成24年名人に認定）されている丸山さん宅へ小正月の行事である「ほんだれ様」のお話を聞きに伺いました。

玄関にはすでに立派なほんだれ様が設置されていました。お宅の中では繭玉を作っておられ早速私達も作らせていただきました。繭の形に皺ができないように丸めるのはなかなか難しい…丸山さんは細いすず竹を半分に割ったものに四角と三角に切った餅をさして稲穂を作ります。そしてクルミの木で作った粟穂とひえ穂も持って外へ。立派なほんだれ様は、ヒノキまたはマツの木を山から4把に切ってきて3束にまとめたものを土台にし、榊・みずき（みずぶさ）を立ててあります。そこへ繭玉・粟穂・ヒエ穂をさし、稲穂を立てて完成です。農具のお年取りでもあるので臼・杵・鍬・鋸などを立て掛け鏡餅を飾って、農作業の安全を祈ります。

30年間途絶えた行事を平治さんが受け継ぎ、今は息子の寛治さんがバトンをつなげようと頑張っておられます。山へ行って土台の木、形の良い榊を切ってくるのは寛治さんの仕事。末永く伝統文化を守っていただけることを期待します！

目からうろこ編 その四「アブラムシ」

唐澤 金実さん（沢）

「アブラムシはクローンでネズミ算式に増殖していく」

（※クローン：親と同一形質を持った個体群をいう）

今年の冬は寒さが厳しく農道近辺では最低気温が-10℃を下回る日も幾日かありましたので、春先のイモムシやアブラムシの発生は少なくなると予想しています。

今回はアブラムシの生態について書きます。アブラムシはカメムシ目に属し、日本には700種ほどが生息しています。主なものとして、モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ、ネギアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ等をよく見かけます。生態は、雑草や取り残した野菜の葉に晩秋に産み付けられた卵から春にメスが羽化し、このメスが単為生殖により次から次へと自分のクローンを1日10匹ほど産み、7日ほどで成虫になり、それらがまたクローンを産み続けます。餌がなくなると翅のある雌を産み、その雌が別の株や植物に移り、そこで翅の無いクローンを産み増えていきます。アブラムシは夏の暑さに弱いので、真夏は増殖スピードが落ちて10月頃に再び増え、晩秋になると翅の生えたオス（雪虫）が生まれ、メスと交尾して有性生殖により遺伝子の多様性を確保していきます。アブラムシに噛みつかれた経験がありますか？　アブラムシの中にはコロニーを守るため、兵隊アブラムシを作り攻撃専門の仲間を作ることがあります。多くは甘い排泄物を出すため蟻に守られていることが多いようです。また、アブラムシが媒介するウィルス病にモザイク病があり、葉が縮たり葉脈に沿って色抜けする症状が現れます。

アブラムシは、硝酸態窒素吸収が過剰な作物の成長点付近に多く集まり、植物の養液を口針で吸収するので、アブラムシが多く発生する圃場や畝には窒素の施肥を控え目にすること、気門封鎖型の薬剤や牛乳の原液を散布すること、また天敵のテントウムシやヒラタアブをハウス内で飼うことも一案です。

有翅アブラムシ

アブラムシコロニー

モモアカアブラムシ

ワタアブラムシ

電子レンジを用いた種子の突然変異誘発実験

面白実験紹介編

藤澤 昭二さん（三日町）

1. 実験の動機

野菜や作物の古い種は、保存方法が悪いと発芽率が低下し、出芽しても不揃いになることが多いのではないでしょうか。毎年買っていれば間違いはないのですが、余ってしまいもったいないと思っています。そこで、発芽率の悪い種子を電子レンジで加熱する、すなわちマイクロ波に暴露することによる発芽率への影響について実験を行い、若干の成果があったので紹介します。

2. 実験の方法

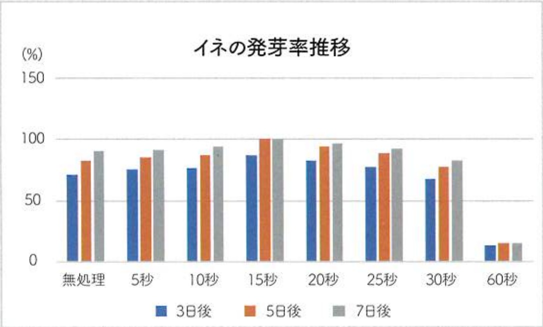
使用した種子は、イネ、小麦、ソバの3作物で、長年放置されていて発芽率が悪い種子について行いました。

今回はイネについて結果を報告します。

①電子レンジは一般的な600Wを使用し、写真のように磁器製の皿の円周上に均一に種子を配置し、5秒～60秒の試験区について行った。

②培養は27℃～29℃の温度範囲で培養した。

③発芽率調査は処理後3日、5日、7日に実施した。



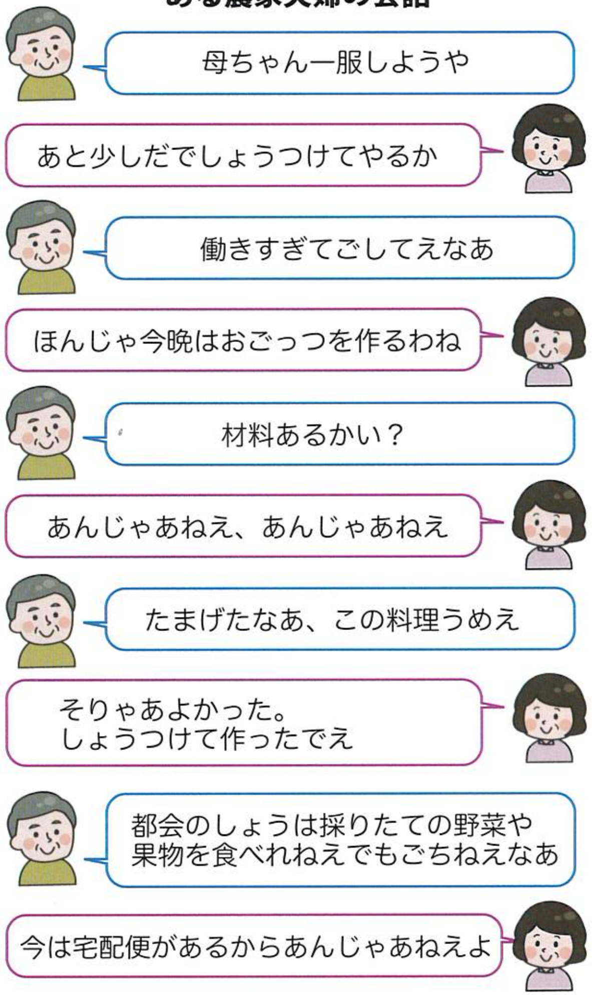
3. 実験結果と今後

無処理区よりも特定の処理時間の試験区の方が高い発芽率となりました。特に15秒と20秒処理区で効果が現れる結果となりました。今後は根菜類やアブラナ科等の野菜種子について検証します。是非試してみてはいかがでしょうか。

【参考】冷蔵庫で保存する場合は5℃以下、湿度30％で密閉した状態だと種子の寿命が延びるようです。

上伊那の方言

ある農家夫婦の会話



みんなは日頃こんな会話をしているかねえ、この頃はあんまし聞かなくなったけんど、どこか残してえ感じがするずら、上伊那人ならではのゆったりした時間がいいない。他の地域にもその土地の方言があるで、飛んでって聞いてみてえものだない。

「みやましい人」から

荒廃農地の解消活動

ご自分の農地の利活用や保全管理が困難な場合は、農地が荒れる前に農業委員会へご相談ください。解決策を見出したいと思います。

【 令和3年度農地パトロール結果 】

荒廃農地　13.76ha
（前年度は14.67ha）

全農地に対して0.81%
（前年は0.86%）

お詫び

第９号の極め人文中で柴さんの奥様の名前が間違っていました。正しくは「柴 令子（のりこ）さん」です。訂正し、お詫び申し上げます。

老後の備えは農業者年金で安心

加入条件は３つ ①年間60日以上農業に従事。②60歳未満。③国民年金第1号被保険者

令和4年から農業者年金制度が改正されます。

1.令和4年1月から若い農業者が加入しやすいよう保険料が引き下げられました。

35歳未満で要件を満たす方は、月額1万円から加入できます。

2.令和4年4月から農業者年金の受給開始時期の選択肢が広がります。

年金の受給条件を満たした方は、受給開始時期をご自分で選択できます。

農業者老齢年金　65歳以上75歳未満　　特例付加年金　65歳以上（年齢上限なし）

3.令和4年5月から農業者年金の加入可能年齢の上限が65歳に引き上げられます。

60歳以上65歳未満で、国民年金の任意加入者であり、農業に従事（年間60日以上）している方に限ります。

詳しくは **農業者年金** で検索

箕輪町農業委員会の各地区担当委員（任期：2024年３月まで）

唐澤　金実	沢上北部1組	79-5668	唐澤　俊秀	中原2組	79-5783	藤森　英雄	木下南城	79-4596	井口　雅文	福与卯の木	79-3801
大槻　憲治	沢15組	79-6116	春日　初（会長代理）	松島西小路	79-4370	小松　孝寿	木下南原	79-5219	金澤　博（農地部長）	長岡大門	79-5428
藤田　久一	大出4組	79-5525	唐澤　健二	松島春日町	79-6467	櫻井　克成	木下一の宮2	79-8536	上田　千志	南小河内 北部	79-5711
関　幹子（農政部長）	八乙女1組	79-3894	小野健一朗	松島南町3	79-0530	赤沼　好秋	富田 2組	79-5861	鈴木　健二（会長）	北小河内 中村	70-6212
小林　正俊	下古田1組	79-3312	倉田　孝子	木下 上一東	79-5172	唐澤　由寛	中曽根 1組	79-5010			
唐澤　稔	上古田3組	79-4027	原　美鈴	木下南部	79-3138	藤澤　昭二	三日町上棚	79-4959			

JA上伊那北部営農センター
農事組合法人みのわ営農 ➔**79-0636**

地区営農組合（5地区）：連絡先は上記の農業委員会の各地区担当委員におたずねください
北部（沢/大出/八乙女/下古田）、中部（上古田/中原/松島）、南部（木下/富田/中曽根）、箕輪（三日町/福与）、東箕輪（長岡/南・北小河内）

箕輪町農業委員会だより 第10号 発行 2022年 3月 1日
農業委員会事務局（役場 産業振興課内） 0265-79-3170

編集後記：農業委員会だよりも発行から３年、少しでも役立つ事を皆様にお伝え出来る場になれば良いと思いやってきました。現在の農業は従事者高齢化や後継者不足による農地の保全管理等の問題を抱えていますが、小さな事から少しでも解消できればと思いますので、是非ご相談ください。(taka)

デザイン・制作：TAKI'sDesign 五十嵐 裕子